

学級担任のまなざし 03

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.10 [Wed]

「ていねいさを大切に」

ある教室に「ていねいに取り組もう」というフレーズが掲示されていました。担任の先生からのメッセージのようでした。その先生に話を聞きました。

「先生は、丁寧に取り組むことを大切に指導されているのですか。」

「そうですね。経験的にですが、物事を丁寧にする子は、学年が上がるにつれていろいろな分野で伸びていくように感じています。」

「勉強でもそうですか。」

「そうですね。例えば、線を引くときには定規を使い、消しゴムを使うときは丁寧に消すように指導します。筆算では位をそろえたり、理科の観察では詳細にスケッチしたりします。何より、文字は丁寧に書くように言います。」

「勉強以外でもそうですか。」

「そうですね。例えば、家庭に持ち帰るプリントを配るときも、最初の頃は、角と角をきちんと合わせて折ることを徹底します。掃除時間に雑巾を使った後、流して丁寧に洗い、パツと広げて、物干し棒に干すように指導します。席を立つときには、いすを入れるように指導します。」

「いろいろあるのですね。」

「給食の時の食器の戻し方、脱いだ服のたたみ方、靴箱への靴の入れ方など、様々な場面で指導していれば、習慣化し、意識しなくてもできるようになります。子どもによっては時間がかかるときもありますが、粘り強く指導し続けることが大切です。」

掲示するだけでは子どもは変わりません。担任の指導があるから変わるのです。